

粉薬の飲ませ方(乳幼児)

1 粉薬のいろいろな飲ませ方

お子様が一番飲みやすい方法で飲ませてあげてください。
水に溶けにくい薬は「だんご」または「ゼリーオブラート」の方法がよいでしょう。
※薬を溶かす際は、水や湯ざましをご使用ください。熱いお湯だと薬の成分が変わることがあります。

・水で溶いてスプーンで



・スプーン等に薬を取り、水や湯ざましを入れ、よく溶かします



・そのままスプーンで飲ませます

・ニップル(哺乳瓶の乳首)で



・水や湯ざましで薬を溶かします。
(ニップルの穴は少し大きくしておいた方がよいでしょう)



・溶いた薬をニップルに入れて吸わせませます

・だんごにして



・薬を水や湯ざましでだんご状にします

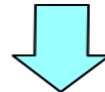


・指につけ、上あご又はほおの内側につけます

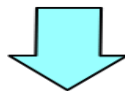
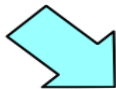
ゼリーオブラートを使って



市販のゼリーオブラートをスプーンに盛り、上に薬のをせます



さらに上からはさむようにゼリーをのせ、のみこませます



2 苦い薬を飲ませる工夫

粉薬はできるだけ水または湯ざましで溶いてください。どうしても嫌がる時は、ジュース、アイスクリーム、ヨーグルト、プリンなどお子さんの好きなものに溶かしたり、混ぜてのませましょう。

※次の「薬の配合変化について」もあわせてご覧ください。
多量のジュースに溶かして、まずいジュースを飲み残しては意味がありません。なるべく少量に溶かして与え、口直しにもとのおいしいジュースを飲ませるのがコツです。



3 薬の配合変化について

一部の薬の中に、ジュースやスポーツドリンクと混ぜると、とても苦くなる薬がありますので、少量でためし味見をしてからのませてください。その他、酸度の強い100%生ジュース、ミルク等でも変化するものがあります。

4 薬とミルク

薬をミルクと混ぜると、ミルクの味が変わり、ミルク嫌いになったりすることがあります。ミルク、ご飯など毎日食べるようなもの（主食）と混ぜるのは止めましょう。

5 ゼリーオブラート(嚥下補助用ゼリー)の使い方

市販のゼリーオブラートを使用することで、薬の苦味やにおいを抑え、のみやすくすることができます。スプーンにゼリーを適量とり、ゼリーの上に粉薬をふりかけます。さらに薬を包むようにゼリーをのせ、そのままゴクンとのませます。

このとき、ゼリーと薬をかき混ぜてしまうとかえって苦味が広がり、逆効果になるので注意しましょう。

6 粉薬の保存

粉薬は、湿気を吸うと成分が変化しますから、必ず密閉できるポリ袋や缶などに乾燥剤と一緒にに入れて保管してください。

